

施策番号	2702		
施策名	環境負荷の少ない水道・下水道の構築		
概要	琵琶湖・淀川水系における水循環の一翼を担う都市として、下水道の整備を推進し、市内河川と下流水域の水質の向上を図る。また、上下水道事業全般において、一層の省エネルギー対策や資源の有効利用に努める。		
担当局・部室	上下水道局・技術監理室、下水道部	共管局・部室	
上位政策	27 暮らしの水		
施策に関係する 主な分野別計画等	京（みやこ）の水ビジョン-あすをつくる- 京都市上下水道事業中期経営プラン(2018-2022)		

施策の評価

1 客観指標評価

指標名		平成 30年度	令和 元年度	令和2年度評価					
				前回値	最新値	目標値	達成度	評価	指標の ウエイト
1	合流式下水道改善率（％）	e	a	66.2	66.2	67.3	0%	e	1.00
2	事業活動に伴う温室効果ガスの排出量削減率（％）	-	a	24.0	26.9	20.5	131.2%	a	1.00
3	-	-	-	-	-	-	-	-	
4	-	-	-	-	-	-	-	-	
5	-	-	-	-	-	-	-	-	
6	-	-	-	-	-	-	-	-	
客観指標総合評価		c	a					c	

2 市民生活実感評価

設問		平成 30年度	令和元年度							令和 2年度 ※
			評価	そう思う	どちらかと言 うとそう思う	どちらとも 言えない	どちらかと言 うとそう 思わない	そう思わ ない	有効回答 者数	
1	京都の河川は水がきれいで、水辺に親しみやすい。	a	a	193 27.1%	307 43.1%	149 20.9%	41 5.8%	22 3.1%	712	-
2	-	-	-							-
3	-	-	-							-
4	-	-	-							-
5	-	-	-							-
市民生活実感調査総合評価		a	a							-

※令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により調査を一時休止しています。

＜総合評価＞

平成30	B	令和元	A	令和2	B	施策の目的がかなり達成されている
重み付け	☒ 客観指標	上下水道サービスを支えている浄水場や管路などの上下水道施設は、普段市民の皆様を意識されにくく、その整備の成果がすぐに市民実感につながりにくいものであるため				
	☐ 市民の実感					

＜原因分析＞

客観指標総合評価

☐ b評価以上であり、施策の効果が客観指標に表れている。

☒ c評価以下であり、次の原因が考えられる。

「合流式下水道改善率」については、一部工事において地下埋設物の影響等により進捗が遅れたため、67.3%の目標に対して66.2%（前年度と同値）と、目標数値には届かなかった。

市民生活実感調査総合評価

☒ b評価以上であり、施策の効果が市民の実感に表れている。

☐ c評価以下であり、次の原因が考えられる。

今後の方向性の検討

＜この施策を構成する事務事業＞（令和元年度又は令和2年度新規事業）

	事業名	事業費の状況(千円)		令和2年度事務事業 評価結果における 目標達成度評価	担当局
		令和元年度 決算額	令和2年度 予算額		
1					
2					
3					
4					
5					

*予算額には人件費及び施設管理に係る経費を含みます。

＜今後の方向性＞

・京都市上下水道事業中期経営プラン（2018－2022）に基づき、高度処理や適切な水質管理により下水処理水質の維持・向上を図る。合流式下水道の改善については、一部の工事において地下埋設物の影響等により進捗が遅れたものの、今年度の目標数値達成に向けて、引き続き貯留管等の整備を進める。また、太陽光発電等による創エネルギー対策や高効率機器の導入などを実施し、温室効果ガス排出量の削減を図る。

施策名	2702	環境負荷の少ない水道・下水道の構築				
-----	------	-------------------	--	--	--	--

指標名	合流式下水道改善率（％）					
-----	--------------	--	--	--	--	--

担当課	計画課	連絡先	6 7 2－7 8 3 9			
-----	-----	-----	---------------	--	--	--

1 指標の説明

合流式区域面積に対する合流式下水道改善済面積の割合（汚水と雨水を同じ管路で排除する合流式下水道において、降雨時に河川へ流出する未処理下水やごみ等を削減する改善対策を実施し、良好な水質や景観を守る取組を推進している。）

2 指標の意味

雨の日に河川へ未処理下水やごみ等が流出するのを防ぐ下水道整備の状況を示す指標

3 算出方法・出典等

算出方法：合流式下水道改善済面積÷合流式区域面積×100

4 数値

	前回数値 平成30年度	最新数値 令和元年度	推移	目標値		
				数値	根拠	達成度
数値	66.2	66.2	増減なし	67.3	上下水道局運営方針	0%

	全国順位	中長期目標				備考 ・「6 基準説明」における評価の計算は以下のとおり 改善度（令和元年度） 0%＝（（66.2－66.2）／ （67.3－66.2））×100
		数値	目標年次	達成度	根拠	
数値	-	96	令和4年度	0%	京都市上下水道事業 中期経営プラン（2018-2022）※達成度は改善度を記載＝（最新数値-平成30年度数値（66.2））／（中長期目標数値-平成30年度数値（66.2））	

5 評価基準

最新数値と目標値を比較して
a：目標値以上
b：目標値未満で改善度80%以上100%未満
c：目標値未満で改善度50%以上80%未満
d：目標値未満で改善度50%未満
e：現状維持

6 基準説明

目標値達成を最高のaとし、目標値に達しなくても改善度によりそれぞれb, c, dに、現状維持であればeと設定した。
※改善度＝（最新数値-前回数値）／（目標値-前回数値）×100

7 評価結果

平成30	令和元	令和2
e	a	e

1 指標の説明

上下水道事業における温室効果ガス排出量の削減割合（上下水道局では、環境マネジメントシステム（EMS）の運用、太陽光発電、小水力発電等による創エネルギーの取組や、高効率機器の導入、運転管理の効率化等による省エネルギーの取組を継続して実施し、地球環境に配慮した事業運営に努めている。）

2 指標の意味

温室効果ガス排出量の削減に向けた取組状況を示す指標

3 算出方法・出典等

出典：事業担当課調べ

4 数値

	前回数値 平成30年度	最新数値 令和元年度	推移	目標値		
				数値	根拠	達成度
数値	24.0	26.9	2.9ポイント増	20.5	上下水道局運営方針 「京都市役所CO ₂ 削減率先実行計画」に基づいて算定した2004（平成16）年度比の削減率	131.2%

	全国順位	中長期目標				備考
		数値	目標年次	達成度	根拠	
数値	-	25.0	令和4年度	107.6%	京都市上下水道事業 中期経営プラン（2018-2022）（最新数値／中長期目標数値）	

5 評価基準

最新数値の目標値に対する達成度が
a：100%以上
b：80%以上100%未満
c：50%以上80%未満
d：30%以上50%未満
e：30%未満

6 基準説明

目標値を上回る可能性もあるため、単年度目標に対する達成度が100%以上をaとし、以下5段階に基準を設定した。

7 評価結果

平成30	令和元	令和2
-	a	a